

平成29年度 学校自己評価システムシート (学校法人狭山ヶ丘学園 狭山ヶ丘高等学校附属中学校)

目指す学校像	基本的生活習慣の徹底と学力向上を目指す。
本年度の重点目標	1、基本的生活習慣の徹底 2、教科指導の徹底と学力向上 3、対話を重視し個々の人格を尊重した指導

達成度	A ほぼ達成 (8割以上)
	B 概ね達成 (6割以上)
	C 変化の兆し(4割以上)
	D 不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	10名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	0名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (4月5日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度の課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での生活習慣の違いや、ルールに対する認識の違いがあり、それが学校生活への適応に対して、差となって現れてくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時のマナーに着目する。</li> <li>学校行事や集会等の団体行動時の姿勢に着目する。</li> <li>普段の教育活動時の言動に着目する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一番はHR時での担任どうしのクラス共通の指導内容の徹底である。</li> <li>教科の先生方にも生徒の言動や服装等の指導上の共通理解を計る。</li> <li>生活の記録を提出させ、規則正しい生活を送れているか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所、時間帯等環境に応じて弁えた行動がとれるか。</li> <li>しっかり挨拶ができるか。</li> <li>勉強時間、睡眠時間が確保されているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が先生方の言動に注意するようになった。</li> <li>挨拶ができるようになった。</li> <li>自分の生活を振り返るようになった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだまだ状況判断が甘く弁えた行動がとれない。</li> <li>声が小さく相手に伝わらない。</li> <li>生活の記録を一部提出しない生徒がいるため、必ず提出させる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科によって生徒の力の差が大きくあり、クラスでの集団授業が難しい面がある。</li> <li>理解力に差があるが、どこまでわかっているのか、表現力が乏しいので掌握しにくい。</li> <li>やる気を引き出すことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小テスト、中間期末テストの内容に着目。</li> <li>担当教員とのコミュニケーションに着目。</li> <li>大学合格、英検取得等。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科担当教員との共通理解を計る。特にどこまで分かっていたかをはっきりさせる。</li> <li>理解できていない生徒に、放課後個別指導して、理解に努める。</li> <li>大学についての知識を深める。英検受験を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度・確認テスト等の点数に変化が出てきたか。</li> <li>学力伸長があったかどうか。</li> <li>レポート提出、合格実績。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度がよくなってきた。</li> <li>教科によって学力伸長があった。</li> <li>英検準2級合格者が増加した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦手意識を持っている教科の学力伸長は難しい。</li> <li>モチベーションがなかなか高められない。</li> <li>全員が同じレベルに達することができない。</li> <li>合格対策講座を実施する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>二者面談やHR活動、総合の時間、道徳の時間または行事等ありとあらゆる教育活動を使って個性を理解する。</li> <li>黙想等の自己観察を通して自分を省みさせる習慣をつけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝ゼミや農作業への活動への取り組みに着目。</li> <li>黙想後の発表の内容に着目。</li> <li>集会や団体行動をとる際の言動の様子に着目。</li> <li>作文やスピーチでの発表。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黙想時のテーマに沿って省みさせる作業に集中させる。</li> <li>農作業・軽登山・理科実習・社会見学等の意義を説明し人間として成長できる機会と捉えさせしっかり行動させる。</li> <li>必ず提出させる、しっかり発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黙想後の発表内容に変化があるか。</li> <li>あらゆる教育活動に前向きに取り組んでいるか調べる。</li> <li>深く考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマに沿って黙想することができるようになった。</li> <li>農作業・軽登山・理科実習・社会見学等しっかりと取り組んだが、まだ、積極的ではなく協調性に欠ける。</li> <li>生徒によっては人間理解が深い発表もあった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの教育活動についての意義をしっかりと理解させ、積極的に活動できるように指導する。</li> <li>人間性を豊かに持てるように辛抱強く言って聞かせる。</li> <li>新聞等を材料に、現代に密着した話題の中で、人間に対する理解を深める。読書を重視し、考えを深めさせる。</li> </ul>

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成 30 年 6 月 30 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンの使用に関して、管理、指導の徹底をこれまで以上にしていくとよい。</li> <li>部活動を活発にし、それによって生活面を規律正しく、意欲的に過ごせるとよい。</li> <li>生活の記録で学習状況を細かくチェックしていくとよい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>補習講習を実施しているのは評価できる。成績が下降気味の生徒を集めた講習を増やすとよい。</li> <li>効率的なノートの書き方や資料の整理を教えてほしい。</li> <li>受験についての解説があるのは評価できる。職業について解説する講座を用意してほしい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>いつもよく見てくれていて、感謝している。</li> <li>学校通信等で様々な話題がテーマになっていることも評価できる。今後は中学1年生にも分かりやすくニュースをかみ砕いて話してくれると良い。</li> <li>生活の記録によって担任と生徒・家庭がコミュニケーションを取れている点が評価できる。</li> </ul>	